

取れたてのナシやスイカを堪能 いちほらフルーツフェスティバル



むいた皮の長さを競うナシの皮むき大会

スイカ種飛ばし大会

8月5日に農業センターで、『いちほらフルーツフェスティバル』が開催され、ナシやブルーベリーの収穫体験やナシ釣り大会、ナシの共進会などたくさんのイベントが行われました。大きく息を吸って、スイカ種飛ばし大会に出場した早水尚弥さん(辰巳台西)は「スイカの種はあまり飛ばなかったけど、実は甘くておいしかったよ」と話してくれました。

子どもたち大興奮 ぞうさんのピクニック 2012



映画『星になった少年』に出演したランディ

8月8日、22日、29日、『ぞうさんのピクニック 2012』が開催され、市原ぞうの国からゾウのランディが市民の森に遊びにきました。ランディは、子どもたちからもらったリンゴやニンジンなどを食べた後、水辺で豪快な水浴びを披露して子どもたちを喜ばせてくれました。

PHOTO セレクション

湖面に咲いた大輪の華 高滝ダム市民花火大会

8月14日、本市の夏の風物詩である同花火大会が高滝湖畔で開催されました。



色鮮やかに花開き、湖面を幻想的に染め上げました

昨年は震災の影響で中止となったため、2年ぶりの開催となった今回。20回目という節目を迎え、約2,500発の花火が夜空と湖面を彩りました。

会場は、市内外から集まった約6万人の来場客で大にぎわい。鴨川市から来た角田さん親子は、「この花火大会にはよく来ていて、いつも楽しみにしています」と満面の笑みで花火を見上げていました。花火が上がるたび「大きい!」と大歓声



災害時に的確な行動がとれるように 市総合防災訓練

市総合防災訓練を9月1日・2日に市内10地区28会場で行い、市民や消防・警察などの行政機関、消防団、各種団体など、延べ14,400人が参加しました。



声を掛け合いながら慎重にがれきを除去(救出訓練)

中央会場の八幡東中学校では、市民が負傷者(人形)を倒壊家屋から助け出す『救出訓練』を実施。また消火器を使用した『初期消火訓練』では、消防団員の「一般的な消火器の噴射時間は約15秒」との説明に、「えー!? 思っていたよりも短い!」と驚きの声。「噴射時間は消火器に表示されているので、各家庭で確認を。いざというときは、冷静に、しっかり火元を狙って」との説明に、参加者たちは熱心に耳を傾けていました。


小域福祉ネットワーク⑰

有秋東小学校校区福祉ネットワーク

同ネットワークでは、地域防災や学校支援などに取り組んでいます。市の防災マップを基に、昔の地形や交通量の情報を交換しながら地域内を徒歩で巡回し、災害時を想定した傾斜箇所や狭い箇所の地図作りを進めています。また巡回時は、防災倉庫の位置確認や交通・防犯上の危険箇所の確認も併せて行っています。

同ネットワークの榊会長は「支え合いと助け合いの仕組みをつくり、誰もが安全で安心して生活できる地域づくりを目指したい」と話します。

問合せ先 保健福祉課 ☎ 9768



意見交換しながら危険箇所を確認

Ichihara 国際通信 ~多文化共生~


多言語による行政サービス情報の提供

市では、日本人と外国人市民が共に理解・協力し合って、誰もが元気に暮らせるまち(多文化共生のまち)をつくるため、『市原市多文化共生プラン』を策定・実施しています。

外国人市民が、生活する上で必要な情報を把握できるよう、保険や年金、税金、健康診査、学校などを説明した『生活ガイド』の多言語化を進めています。現在、英語と韓国語、中国語、ポルトガル語、タイ語、タガログ語、スペイン語の7言語の同ガイドを人権・国際課や支所で配布しています。

また災害に備え、市ウェブサイトでは、多言語化した防災情報を掲載しています。自分の身は自分で守ることを普段から意識して対応することが大切です。

問合せ先 人権・国際課 ☎ 9826



7言語の『生活ガイド』

ホームタウン通信

スポーツ体験教室 『おとどけ隊』を実施中

86

コーチとボール遊びをする児童(東海小学校)

ジェフユナイテッド市原・千葉では、市内の幼稚園と保育所、小学校にコーチを派遣し、ボール遊びやサッカーを通してスポーツの楽しさを体験してもらうスポーツ体験教室『おとどけ隊』を実施しています。子どもたちはスポーツを通して、仲間と協力することの大切さについても学びます。

問合せ先 スポーツ振興課 ☎ 9851

